

# 18日間集中トレーニング 中国語リスニングジム

芳沢ひろ子・李貞愛 著

ディクテーション練習帳  
*dictation*



## 「ディクテーション」とは

本 PDF は、『18 日間集中トレーニング 中国語リスニングジム』を使って中国語の聞き取りを特訓されている方々に、学習効果をさらに高める方法である「ディクテーション」に取り組んでいただくための練習帳です。

「ディクテーション」とは、「書き取り」です。耳で音声を聞きながら、聞こえてきた音を文字にして書き出していきます。こうすることにより、より音声を集中して聞くことができると同時に、正確に聞き取ることができるどころと、できないところが鮮明にわかるようになります。これが学習効果をさらに高めます。(詳しくはテキスト 146 ページをご覧ください。)

## 練習の進め方

本 PDF には、『18 日間集中トレーニング 中国語リスニングジム』のコラムを含む全単語・全例文のディクテーションスペースを設けています。各ページは A 4 サイズで、全 98 ページあります。

下記の 2 種類の PDF がありますので、適宜必要なファイルをお使いください。

- ① 「ディクテーション練習帳 ALL」…全ページをまとめてプリントアウトできます。
- ② 必要な部分だけをプリントアウトできるよう、6 つの PDF に分割しました。

「01_UNIT1」	テキスト 15 ページまで
「02_UNIT2」	第 1 天～第 5 天 (テキスト 23～62 ページ)
「03_UNIT3_1」	第 6 天～第 10 天 (テキスト 65～94 ページ)
「04_UNIT3_2」	第 11 天～第 18 天 (テキスト 97～145 ページ)
「05_UNIT4」	UNIT 4 (テキスト 148～159 ページ)
「06_COLUMN」	「ちょっとひと休み」

\_\_\_\_\_      ピンイン記入欄

□ □ □

簡体字記入欄 (UNIT 3 の STEP 3 は \_\_\_\_\_ )

テキストの進行と同じように、まず短い数字や単語から始めましょう。第 1 天の STEP 2 では、声調のみを聞き分けて記入するスペースを設けました。声調を正確に聞き分ける力をつけ、それからピンインと漢字を合わせて書き取るようにしていくとよいでしょう。

UNIT 3 からの文章を、初めから一度にすべてを書き取るのは難しいかもしれません。けれども途中で止めずに、すべて書き取れるまで繰り返し、繰り返し聞いてください。もう限界だというところまで挑戦してからテキストを見てスクリプトを確認しましょう。

UNIT 3 の STEP 3 は、音声のスピードも速く、文章も長くなります。かなり難しくなりますので、先に STEP 1 と STEP 2 を最後まで練習してから、戻って練習してもよいでしょう。

# UNIT 1 診断テスト

聞こえた音をまずピンインで書いてみましょう。次に、簡体字も書いてみましょう。

## 第1問

1

\_\_\_\_\_

--	--	--	--	--	--	--

2

\_\_\_\_\_

--	--	--

3

\_\_\_\_\_

--	--	--

## 第2問

選択肢A~Dのすべての単語・フレーズを書き取りましょう。

1

[A]

\_\_\_\_\_

--	--	--

[B]

\_\_\_\_\_

--	--

[C]

\_\_\_\_\_

--	--

[D]

\_\_\_\_\_

--	--

2

[A]

\_\_\_\_\_

--	--	--

[B]

\_\_\_\_\_

--	--	--

[C]

---

--	--	--

[D]

---

--	--	--

**第3問**

すべての文章を書き取りましょう。

甲

---

				?				?
--	--	--	--	---	--	--	--	---

乙

[A]

---

						。
--	--	--	--	--	--	---

[B]

---

						。
--	--	--	--	--	--	---

[C]

---

			。					。
--	--	--	---	--	--	--	--	---

[D]

---

						。
--	--	--	--	--	--	---